

みんな、
日本が戦争に負けて良かったね！
って話

2019.12.14

田母神道場門下生

スカピッピパパ (bscppmm@yahoo.co.jp)

今回紹介の推薦図書 1

その1

負けるはずがなかった！大東亜戦争
倉山満 著
アспект

大東亜戦争敗北の原因を検討した書

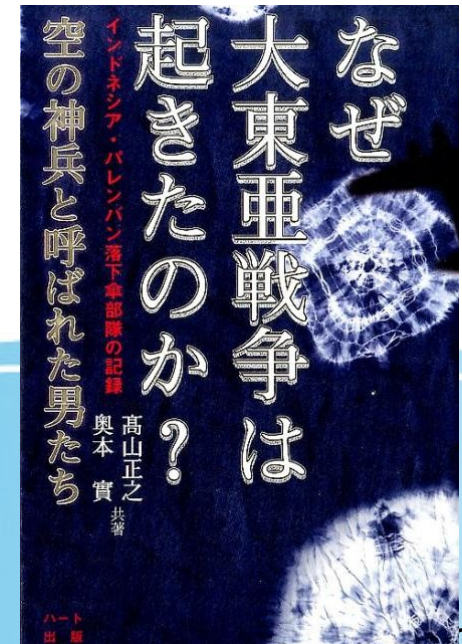


その2

なぜ大東亜戦争は起きたのか？
空の神兵と呼ばれた男たち
インドネシア・パレンバン落下傘部隊
の記録

高山正之 著
ハート出版

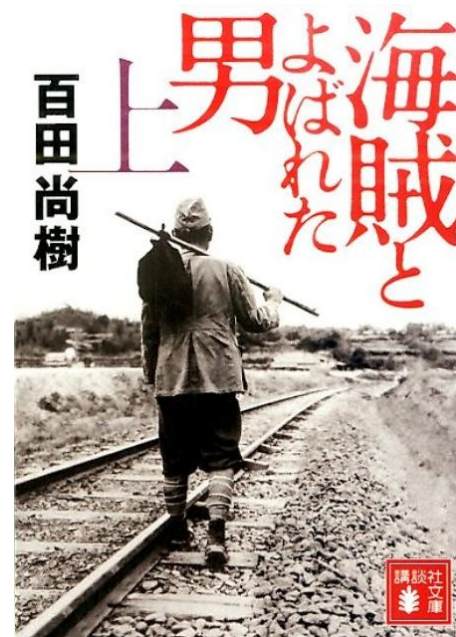
蘭領インドネシア（日本に一番近くで油田
があった）の攻略作戦概要



今回紹介の推薦図書 2

その3

海賊とよばれた男 (上)
百田 尚樹 著
講談社文庫



その4

海賊とよばれた男 (下)
百田 尚樹 著
講談社文庫



概要

一代で現在の出光石油を築きあげた出光佐三さんの物語、戦前、戦中、戦後の石油を巡る日本人の戦いが理解できる。

今回紹介の推薦図書 3

その5

まだGHQの洗脳に縛られている日本人
ケント・S. ギルバート 著
PHP研究所

まだ
GHQの洗脳に
縛られている日本人

米カリフォルニア州弁護士
ケント・ギルバート
Kent Sidney Gilbert

概要

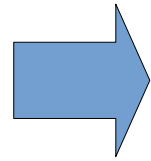
日本人の持つ自虐史観は、GHQによる洗脳工作であり、正しい歴史観ではない。

PHP

その1
大東亜戦争は
現実的にはアメリカが仕掛けた。

開戦時の状況

当時の日本は、
石油のほぼ全量を欧米諸国からの輸入に頼っていた。



ABCD包囲網で石油の供給が断たれた段階で、
日本の戦争遂行は不可避になった。

日米が総力戦を行えば、その帰趨は経済力になるわけで、
日本必敗となるのは、明らかだった。

- ・「昭和16年夏の敗戦」を読みました
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12284739926.html>

ということならば、

総力戦を回避して、
初戦の勝利だけで和平に持ち込めれば、
日本の勝利があり得たと考えられないだろうか？

その2 実際の大東亜戦争の経緯の分析

愚策1 真珠湾奇襲攻撃

これで、当初戦争に否定的だった米世論を、戦争遂行で結束させてしまった。

- いきなり真珠湾攻撃って、どうなのよ？
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12054044120.html>
- いきなり真珠湾攻撃に関する専門家の意見
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12054037633.html>

倉山満氏は、

山本五十六は愚将にとどまらず、
「証拠はないが、コミンテルのスパイであった。」
そう考えると分かりやすいとまで、言い切っています。

愚策2 意味のない南の島を取った

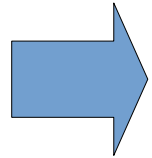
とっても意味のない南の島を多くとり、部隊を分散化させた。
結果、米軍の都合の良いところから、別途個別集中的に撃破された。

「どこも善戦はしたが、負けは負け」だって。

- ・いきなり真珠湾攻撃に関する専門家の意見
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12054037633.html>

良策1 インドネシアにある油田の確保

日本の戦争目的は、石油の確保



蘭領インドネシアにある油田の確保に全力を尽くすべき！

そしてその作戦はあり、

油田の無傷確保

も出来ていた！

- ・ 「空の神兵と呼ばれた男たち」 書評 ～ なぜ大東亜戦争は起きたのか？
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12249163243.html>

その作戦は、落下傘部隊による奇襲攻撃！

愚策3 物資供給確保の軽視

とすれば、

そこから日本までの供給の確保を最優先すべきなのに、
日本軍はこれを徹底的に軽視した。

民間の徴用船の致死率は43%と推察され、

陸軍軍人の約20%、海軍軍人の約16%をはるかに上回る！

- ・ 「海賊とよばれた男」を読みました

<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12307260365.html>

つまり、

日本は徹底的に補給を断たれ、陸の孤島にされてしまった。

その3

ということで、
こうすれば戦争に勝てた！
を考えてみた！

こうすれば勝てたのではないか 1 ?

1. 事前に日本の戦争遂行目的は、侵略ではなく、石油の供給確保であることを明確にする。
2. オランダだけに宣戦布告し、
油田のある蘭領インドネシアだけを攻略する。
3. 落下傘部隊を投入し、油田の無傷確保を目指す。
(これは実際に出来ていた)
4. おそらく、英米仏は宣戦布告してくる、
が、受けて立つのと仕掛けるのでは、
国内の世論が全然違うはず。

こうすれば勝てたのではないか？

5. 東南アジアにある仏領、英領を一気にたたく。
ただし、米国に戦う口実を与えないため、
米領フィリピンだけは、あえて手を出さない。
6. 特に海上では、米国と積極的には戦かわず、
東南アジアとの補給路確保に注力する。
7. 初戦で強さを見せつけた後は、英仏蘭を相手に和平を持ちかける。
彼らは、ヨーロッパで対独戦で手一杯な訳で、
和平に乗ってくると思われる。
8. 戦争遂行に否定的な世論の中、
米国も和平に同意せざるを得なくなる。

どう？

蘭領インドネシア、仏領ベトナム、英領ビルマ

くらいは、領有できたと思わないだろうか？

この状態で戦争を終結させることが出来れば、

日本の勝利ということにならないだろうか？

とすれば、大東亜共栄圏は実現していたのでは、ないだろうか？

その3 ということで、その後の日本の検討

戦争勝利後の日本

戦前、朝鮮と台湾で、日本がしていたことは、、、

- ・無理やり援助というややこしい政策

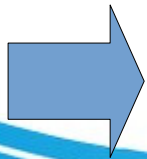
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12054058392.html>

戦前、朝鮮と台湾で、日本がしていたことは、、、

人民の、人民による、人民のための政治

が出来ない人たちに成り代わって、

日本人の、日本人による、現地人のための政治。。。。



インドネシア、ベトナム、ビルマでも
これをやり始めたのではないだろうか???

これって、戦後の日本人幸せ？

- ・日本が戦争に勝っていたら

<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12054040666.html>

あまりにも、大変ではないでしょうか???

しかも、戦前日本が統治した国は、

歴史の事実を捻じ曲げて反日的な国が2つ、

その後、他民族に支配されたため、親日的な国が1つ、

かつ、親日的な方も、その表現は、

「犬が去って、豚が来た。」

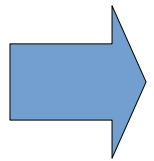
である。

あまりにも、虚しくはないでしょうか???

ところが、戦争に負けてこうなった 1

- ・先の戦争の悲惨な体験を語り継ぐな
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12054054101.html>

軍事面は米国におんぶにだっこのまま、経済活動に邁進すれば良い。



日本の中で、日本人同士仲良く勤勉にしていれば良い！

これって、江戸時代人が持っていた幸せを取り戻してないですか？

ところが、戦争に負けてこうなった2

- 日本製の武器で独立した、東南アジア人には感謝されている。
- 原爆の威力に驚愕した先進国は侵略を控えるようになった。
- 技術立国としては足手まといの朝鮮、台湾を切り離してもらえた。
- 軍事はアメリカにおんぶに抱っこ、
経済活動に邁進すれば良くなった。

確かに、終戦直後は極貧状態で苦しい生活を強いられたが、、、

- 戦争を知らない子供たち (1950年以降の生まれくらい)
作詞 北山 修 (1946年6月19日生まれ)
作曲 杉田 二郎 (1946年11月2日生まれ)

の世代以降の日本人の幸福度は、
戦前の日本人より高まっているのではなかろうか？

結論

そんなわけで、僕は現代日本人に対し、

みんな、日本が戦争に負けて良かったね！

って、言いたくなってしまうのである。

問題は、戦後70年も経って、
まだGHQの洗脳が解けてない日本人が少なからずいること。

そこをなんとかしたい！

そんな風に考えています。

- ・ ケント・ギルバートさんの本を読みました
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12129315278.html>